

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成21年1月8日(2009.1.8)

【公表番号】特表2008-536921(P2008-536921A)

【公表日】平成20年9月11日(2008.9.11)

【年通号数】公開・登録公報2008-036

【出願番号】特願2008-507703(P2008-507703)

【国際特許分類】

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 K 31/5517 (2006.01)

A 6 1 K 31/495 (2006.01)

A 6 1 K 31/195 (2006.01)

A 6 1 K 31/51 (2006.01)

A 6 1 K 31/525 (2006.01)

A 6 1 K 31/455 (2006.01)

A 6 1 K 31/4415 (2006.01)

A 6 1 K 31/519 (2006.01)

A 6 1 K 31/714 (2006.01)

A 6 1 K 31/197 (2006.01)

A 6 1 K 31/4188 (2006.01)

A 6 1 K 31/198 (2006.01)

A 6 1 P 25/32 (2006.01)

A 6 1 P 25/36 (2006.01)

C 0 7 D 487/04 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 45/00

A 6 1 P 43/00 1 1 1

A 6 1 K 31/5517

A 6 1 K 31/495

A 6 1 K 31/195

A 6 1 K 31/51

A 6 1 K 31/525

A 6 1 K 31/455

A 6 1 K 31/4415

A 6 1 K 31/519

A 6 1 K 31/714

A 6 1 K 31/197

A 6 1 K 31/4188

A 6 1 K 31/198

A 6 1 P 25/32

A 6 1 P 25/36

C 0 7 D 487/04 1 5 4

【手続補正書】

【提出日】平成20年11月14日(2008.11.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

選択的塩素イオンチャネルモジュレーターを配合することを含む、メタンフェタミンの乱用の治療のための医薬の製造方法。

【請求項 2】

前記選択的塩素イオンチャネルモジュレーターがフルマゼニルである、請求項 1 に記載の製造方法。

【請求項 3】

前記フルマゼニルが約 1 . 0 ~ 3 . 0 m g / 日の量で投与される、請求項 2 に記載の製造方法。

【請求項 4】

前記フルマゼニルが約 1 . 5 ~ 2 . 5 m g / 日の量で投与される、請求項 2 に記載の製造方法。

【請求項 5】

前記選択的塩素イオンチャネルモジュレーターが、G A B A_A受容体の部分的アロステリックモジュレーターである、請求項 1 に記載の製造方法。

【請求項 6】

前記部分的アロステリックモジュレーターが、G A B A_A受容体に高い用量効力かつ、低い最大効力で作用する、請求項 5 に記載の製造方法。

【請求項 7】

前記部分的アロステリックモジュレーターが、G A B A_A受容体の受容性をリセットし、塩素イオンチャネルのイオンの流れを増大させる、請求項 5 に記載の製造方法。

【請求項 8】

前記選択的塩素イオンチャネルモジュレーターが、G A B A_A受容体の部分的アゴニストである、請求項 1 に記載の製造方法。

【請求項 9】

前記選択的塩素イオンチャネルモジュレーターが、イミダゾベンゾジアゼピン、又はエチル 8 - フルオロ - 5 , 6 - ジヒドロ - 5 - メチル - 6 - オキソ - 4 H - イミダゾ - [1 , 5 - a] [1 , 4] ベンゾジアゼピン - 3 - カルボキシレートの誘導体のうちの少なくとも一方である、請求項 1 に記載の製造方法。

【請求項 10】

前記医薬は、強化ビタミン B 複合体、ヒドロキシジン、又はガバペンチンのうちの少なくとも 1 つを好ましくは含む治療化合物と組み合わせて投与される、請求項 1 ~ 9 のいずれか 1 項に記載の製造方法。

【請求項 11】

前記医薬が、食事療法、運動療法又は認知療法の間に投与される、請求項 1 ~ 10 のいずれか 1 項に記載の製造方法。

【請求項 12】

前記医薬が、3 m g / 日未満の治療有効量で投与され、20 分以下の期間にわたり 0 . 4 m g 以下の個々の用量で送達される、請求項 1 ~ 11 のいずれか 1 項に記載の製造方法。

【請求項 13】

選択的塩素イオンチャネルモジュレーターを含む、メタンフェタミンの乱用を治療するための薬学的組成物。

【請求項 14】

前記選択的塩素イオンチャネルモジュレーターがフルマゼニルである、請求項 13 に記載の薬学的組成物。

【請求項 15】

前記フルマゼニルが約 1 . 0 ~ 3 . 0 m g / 日の量で投与される、請求項 1 4 に記載の薬学的組成物。

【請求項 1 6】

前記フルマゼニルが約 1 . 5 ~ 2 . 5 m g / 日の量で投与される、請求項 1 4 に記載の薬学的組成物。

【請求項 1 7】

前記選択的塩素イオンチャネルモジュレーターが、G A B A_A受容体の部分的アロステリックモジュレーターである、請求項 1 3 に記載の薬学的組成物。

【請求項 1 8】

前記部分的アロステリックモジュレーターが、前記 G A B A_A受容体に高い用量効力かつ、低い最大効力で作用する、請求項 1 7 に記載の薬学的組成物。

【請求項 1 9】

前記部分的アロステリックモジュレーターが、前記 G A B A_A受容体の受容性をリセットし、塩素イオンチャネルのイオンの流れを増大させる、請求項 1 7 に記載の薬学的組成物。

【請求項 2 0】

前記選択的塩素イオンチャネルモジュレーターが、G A B A_A受容体の部分的アゴニストである、請求項 1 3 に記載の薬学的組成物。

【請求項 2 1】

前記選択的塩素イオンチャネルモジュレーターが、イミダゾベンゾジアゼピン、又はエチル 8 - フルオロ - 5 , 6 - ジヒドロ - 5 - メチル - 6 - オキソ - 4 H - イミダゾ - [1 , 5 - a] [1 , 4] ベンゾジアゼピン - 3 - カルボキシレートの誘導体のうちの少なくとも一方である、請求項 1 3 に記載の薬学的組成物。

【請求項 2 2】

選択的塩素イオンチャネルモジュレーターを配合することを含む、アルコール又は刺激物質の乱用を治療するための医薬の製造方法。

【請求項 2 3】

前記選択的塩素イオンチャネルモジュレーターがフルマゼニルである、請求項 2 2 に記載の製造方法。

【請求項 2 4】

前記フルマゼニルが約 1 . 0 ~ 3 . 0 m g / 日の量で投与される、請求項 2 3 に記載の製造方法。

【請求項 2 5】

前記フルマゼニルが約 1 . 5 ~ 2 . 5 m g / 日の量で投与される、請求項 2 3 に記載の製造方法。

【請求項 2 6】

前記選択的塩素イオンチャネルモジュレーターが、G A B A_A受容体の部分的アロステリックモジュレーターである、請求項 2 2 に記載の製造方法。

【請求項 2 7】

前記部分的アロステリックモジュレーターが、G A B A_A受容体に高い用量効力かつ、低い最大効力で作用する、請求項 2 6 に記載の製造方法。

【請求項 2 8】

前記部分的アロステリックモジュレーターが、G A B A_A受容体の受容性をリセットし、塩素イオンチャネルのイオンの流れを増大させる、請求項 2 6 に記載の製造方法。

【請求項 2 9】

前記選択的塩素イオンチャネルモジュレーターが、G A B A_A受容体の部分的アゴニストである、請求項 2 2 に記載の製造方法。

【請求項 3 0】

前記選択的塩素イオンチャネルモジュレーターが、イミダゾベンゾジアゼピン、又はエチル 8 - フルオロ - 5 , 6 - ジヒドロ - 5 - メチル - 6 - オキソ - 4 H - イミダゾ - [1

， 5 - a] [1 , 4] ベンゾジアゼピン - 3 - カルボキシレートの誘導体のうちの少なくとも一方である、請求項 2 2 に記載の製造方法。

【請求項 3 1】

前記刺激物質がコカイン、クラックコカイン、エフェドリン、アンフェタミン、デキストロアンフェタミン、フェンメトラジン、MDA、MDMA 及びそれらの類似体から選択される、請求項 2 2 ~ 3 0 のいずれか 1 項に記載の製造方法。

【請求項 3 2】

前記医薬は、強化ビタミン B 複合体、ヒドロキシジン、又はガバペンチンのうちの少なくとも 1 つを好ましくは含む治療化合物と組み合わせて投与される、請求項 2 2 ~ 3 1 のいずれか 1 項に記載の製造方法。

【請求項 3 3】

前記医薬が、食事療法、運動療法又は認知療法の間に投与される、請求項 2 2 ~ 3 2 のいずれか 1 項に記載の製造方法。

【請求項 3 4】

前記医薬が、3 mg / 日未満の治療有効量で投与され、20 分以下の期間にわたり 0 . 4 mg 以下の個々の用量で送達される、請求項 2 2 ~ 3 3 のいずれか 1 項に記載の製造方法。

【請求項 3 5】

選択的塩素イオンチャンネルモジュレーターを含む、アルコール又は刺激物質の乱用を治療するための薬学的組成物。

【請求項 3 6】

前記選択的塩素イオンチャンネルモジュレーターがフルマゼニルである、請求項 3 5 に記載の薬学的組成物。

【請求項 3 7】

前記フルマゼニルが約 1 . 0 ~ 3 . 0 mg / 日の量で投与される、請求項 3 6 に記載の薬学的組成物。

【請求項 3 8】

前記フルマゼニルが約 1 . 5 ~ 2 . 5 mg / 日の量で投与される、請求項 3 6 に記載の薬学的組成物。

【請求項 3 9】

前記選択的塩素イオンチャンネルモジュレーターが、GABA_A受容体の部分的アロステリックモジュレーターである、請求項 3 5 に記載の薬学的組成物。

【請求項 4 0】

前記部分的アロステリックモジュレーターが、前記 GABA_A受容体に高い用量効力がつ、低い最大効力で作用する、請求項 3 9 に記載の薬学的組成物。

【請求項 4 1】

前記部分的アロステリックモジュレーターが、前記 GABA_A受容体の受容性をリセットし、塩素イオンチャンネルのイオンの流れを増大させる、請求項 3 9 に記載の薬学的組成物。

【請求項 4 2】

前記選択的塩素イオンチャンネルモジュレーターが、GABA_A受容体の部分的アゴニストである、請求項 3 5 に記載の薬学的組成物。

【請求項 4 3】

前記選択的塩素イオンチャンネルモジュレーターが、イミダゾベンゾジアゼピン、又はエチル 8 - フルオロ - 5 , 6 - ジヒドロ - 5 - メチル - 6 - オキソ - 4 H - イミダゾ - [1 , 5 - a] [1 , 4] ベンゾジアゼピン - 3 - カルボキシレートの誘導体のうちの少なくとも一方である、請求項 3 5 に記載の薬学的組成物。

【請求項 4 4】

前記刺激物質がコカイン、クラックコカイン、エフェドリン、アンフェタミン、デキストロアンフェタミン、フェンメトラジン、MDA、MDMA 及びそれらの類似体から選択

される、請求項 3 5 ~ 4 3 のいずれか 1 項に記載の薬学的組成物。